

歴史
母唄

忘れちゃいけない ～歴史や戦争の足あと～



ぼくの見た戦争

たかはし(にのり) 高橋邦典 写真・文
ポプラ社

イラク戦争でアメリカ軍といっしょに行動したカメラマンがとった真実。同じ空の下で生きる人間どうしなのに、なぜ戦うことになるんだろう。



杉原千畝物語 命のビザをありがとう

すぎはら ゆきこ すぎはら ひろき
杉原幸子・杉原弘樹 著
金の星社

人として自分は何ができるのか？多くのユダヤ人を迫害から救った、ある日本人外交官の勇気と感動の物語。

絵で見る ある町の歴史

スティーブ・ヌーン 絵 アン・ミラード 文
まつざわ 松沢あさか たかおか 高岡メルヘンの会 訳
さ・えら 書房

川のほとりのある町の誕生から現在までを時代順にたどり、そこに住む人びとの暮らしぶりや生産活動の移り変わりをあざやかに見せてくれる歴史絵本です。



犬やねこが消えた

せんそう 戦争で命をうばわれた動物たちの物語
いのうえ 井上こみち 文 ミヤハラヨウコ 絵
学研

もし、かわいがっている犬やねこと、急に引きはなされたら、あなたはどんな気持ちになるかな。



「あの日」のこと

東日本大震災2011.3.11

「あの日」、そしてこれから

たかはし(にのり) 高橋邦典 写真・文 ポプラ社

仙台生まれの戦場カメラマンが、跡形もなく破壊された故郷と、そこで生き抜こうとする人々の姿を、写真と言葉で伝えます。



源平の風(白狐魔記)

さいとうひろし 齊藤洋 [著] 偕成社

修行の末、人間に化ける力を身につけたキツネ・白狐魔丸。源氏と平氏の戦いに巻きこまれ出会ったのは源義経。義経と白狐魔丸の時をこえた冒険が始まる。



子どもたちへ、今こそ伝える戦争

—子どもの本の作家たち19人の真実—

ちやうしんた 長新太 他 [著] 講談社

日本が戦争をしていた時代、子どもたちは何を見、何を感じたのか。子どもだった作家たちが自らの体験を語る。



絵で読む 広島原爆

なすまさと 那須正幹 文 にしむらしげお 西村繁男 絵
福音館書店

戦前のきれいな広島町がえがかれています。なぜこの町に原爆が投下されたのでしょうか。この戦争の時代や、原爆が作られて落とされるまでも書かれています。



ニュースの現場で考える

いけがみあきら 池上彰 著 岩崎書店

テレビでおなじみの作者が解説者になるまでの自伝と、ニュース現場の裏側を語ります。

アンネの日記

ふかまちまりこ アンネ・フランク [著] 深町真理子 訳 文藝春秋・文春文庫
ナチスに追われ、13歳から2年間、屋根裏にかくれ住んだ少女の魂の記録。

12歳から学ぶ滋賀県の歴史

しがけんちゅうがっこうきょういけんきょうがくしやがくふかい 滋賀県中学校教育研究会社会科部会 編 サンライズ出版
豊富なイラストと写真で、あなたを滋賀県の歴史に夢中にさせます。



彼の手は語りつぐ

ちばしげき パトリシア・ポラッコ [作] 千葉茂樹 訳 あすなる書房
どれいせいはいし 奴隷制廃止をめぐる戦争。黒人と白人、二人の少年の命をかけた物語。

ふたりのイーダ

まつたに こ 松谷みよ子 [作] つかさおむ 司修 絵 講談社

母の田舎町で見つけた古い家の小さな木のいすは、だれかをさが探していた。

